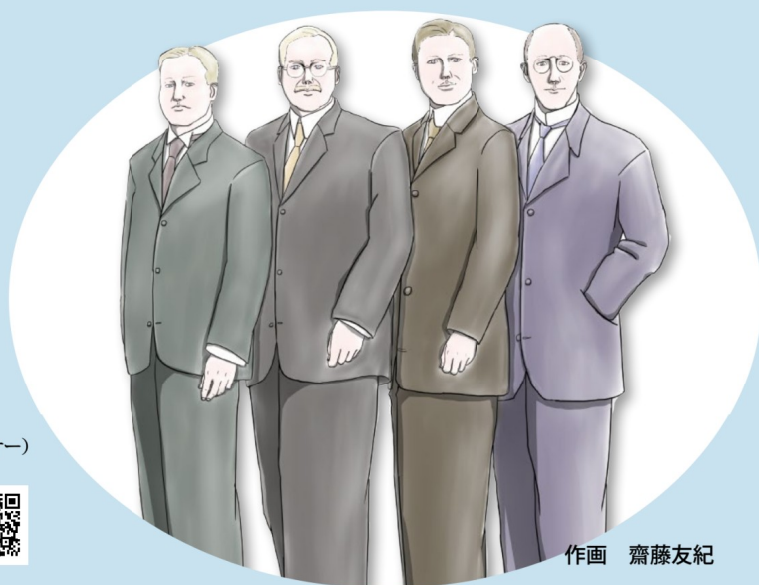


連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第1章
ポールの生い立ち（前半）



原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）
制作 株式会社アイディ

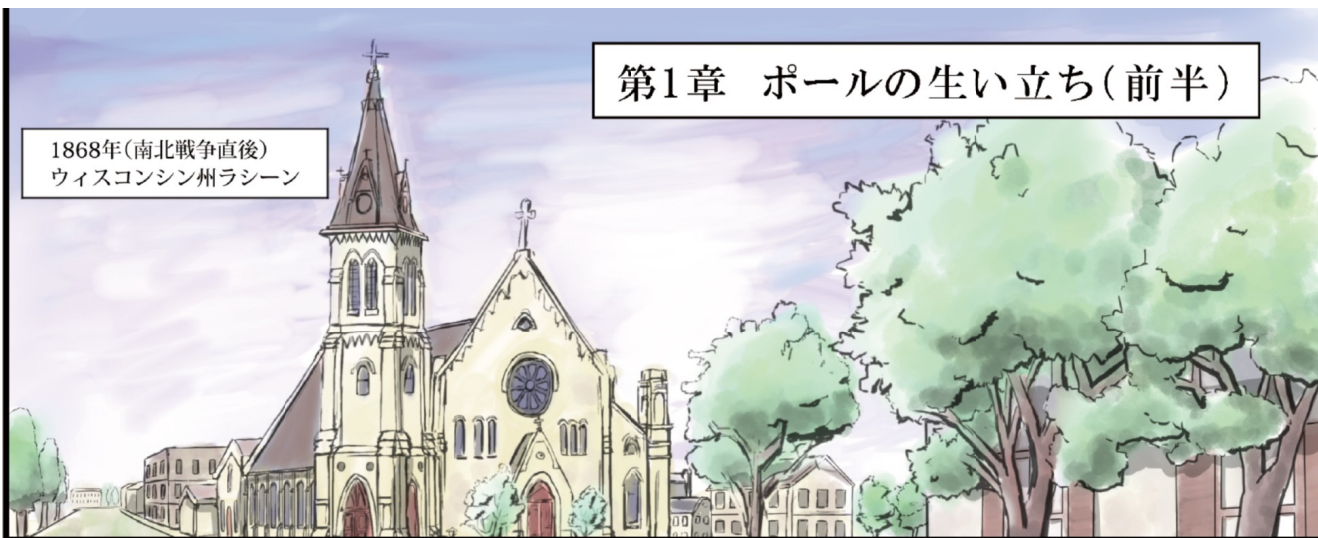
アニメーションも公開中！
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



作画 齋藤友紀

第1章 ポールの生い立ち(前半)

1868年(南北戦争直後)
ウィスコンシン州ラシーン



ポール・ハリスは
アメリカ北東部
バーモント州の
ウォーリングフォード
に定住した家系に
生まれました。



祖父ハワード・ハリス

ポールは…
ようやく
眠ったか…



祖母パメラ

父方の祖父ハワード・ハリスと
その妻パメラとの間には5人の
子どもがあり、その中の3人は
早世しています。



父ジョージ

兄セシル

母コーネリア

ポールの父ジョージは
その残った2人のうちの一人で、
母はコーネリアといいました。

父のジョージは祖父の
助力で、ラシーンに
雑貨店を開業します。



が、しかし…



発明と文筆に熱中し、
商売をおろそかに
してしまい——



その結果、倒産の憂き目に
遭いました。

このために一家は四散
することになってしま
います。





二人を置いていくことになってしまい…本当にすまない

ニーナはまだ小さいから仕方がないですよ

後に生まれた妹のニーナ



この時、ポールはまだ3歳でした。



妹は幼少だということで母と共にラシーンに残りました。



ポールは父と兄セシルと共に祖父のところに身を寄せることになりました。

おじいちゃんのところに行くの？

そうだよ…3人でいくんだ



それから間もなく兄セシルは伯母に引き取られます。



この人「スーおばさん」はポールの母の姉に当たり、戦争で夫を失い、子どもがいませんでした。



こうして、ポールだけが祖父母の家で養育されることになります。



何度も本当にすまない、父さん

今度こそは、うまくやっておくれよ

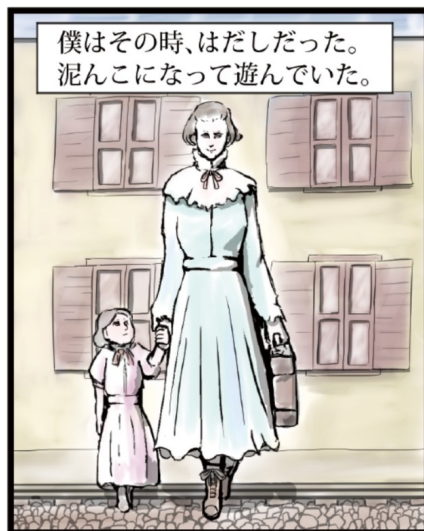
その後、祖父のハワードは父ジョージのためにウォーリングフォードの近くの町で雑貨店を開きました。



そして、母もここに移り、再び一緒に住むことになります。



その時のことをポールは後にこう言っています。



僕はその時、はだしだった。泥んこになって遊んでいた。



そうしたらウォーリングフォードの駅の線路をまたいで

いまだかつて会ったことのないような美しいおばさんが私の方へ歩いてきた。



「坊や、あなたはポールでしょう」と尋ねるので



「そうだよ、おばさん」と答えると



即座に、「おばさんじゃない、お母さんだよ」と私を抱きしめてくれた。
私はこの日のことを一生忘れない。
こんな美しい人が自分の母親であったことを喜ばしく思った。

再び巡ってきた一家団らんの中で、
ガイ、クロード、レジノールという
3人の弟が生まれます。



しかし…この円満は長くは
続きませんでした。

父は再び道楽の
発明に凝りだし、



それで手っ取り早く金儲けを
しようと考えたのです。

母もピアノや合唱団を指導して
いましたが、その月謝の倍のお金を出して
お手伝いさんを雇うなど、



浪費を繰り返しました。

その結果、再度の破産。ポールは
悲しげに当時を回想しています。



「両親とも過去の不幸な出来事から全く
何も学んでいないかのようにであった。
事業にも家庭にも、ラシーンの悲劇が
そっくりそのまま再現されていた」

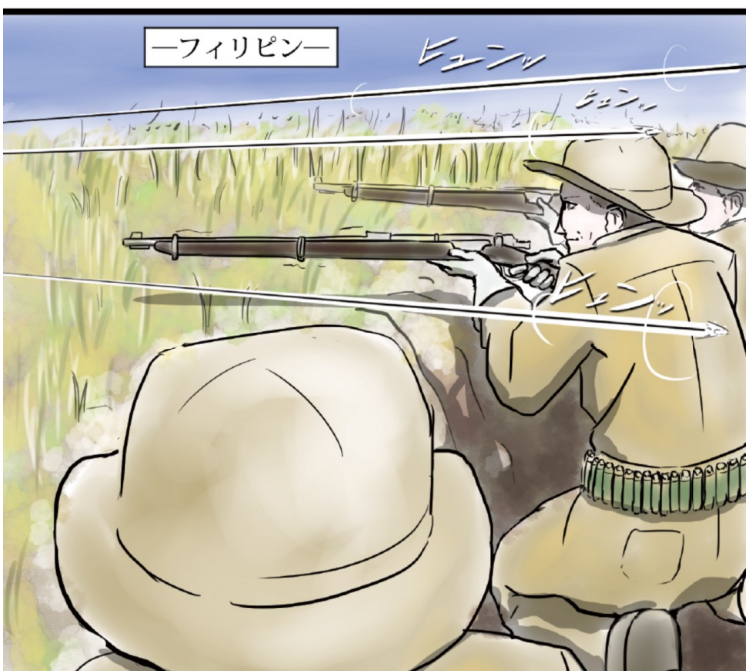


兄弟のうちセシルと



ガイは早世——。

—フィリピン—



後にクロードは米西戦争で
出征したフィリピンで
戦死してしまいます。

ところで、ポールたちの祖父、ハワード・ハリスは信仰の自由を求めて、早い時期にイギリスからアメリカに移住したピューリタン(清教徒)で、農民でした。



おや、手伝ってくれるのかい？

儉約家で、ポールの父のために店を用意し、ポールを大学まで行かせるなど、援助を惜しまない人もありました。



ポールには休暇中、毎日少しずつ勉強をしてもらいたいんだよ



しかも、始めるなら今が一番良い時なんだ

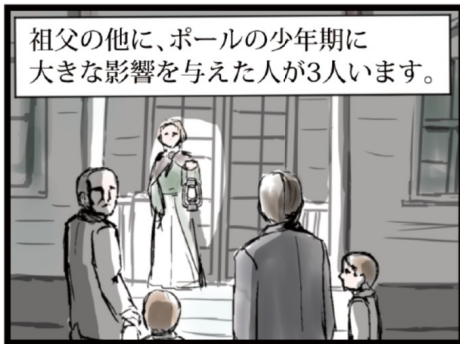


おじいさんが単語を言うから

そのつづりを言いなさい



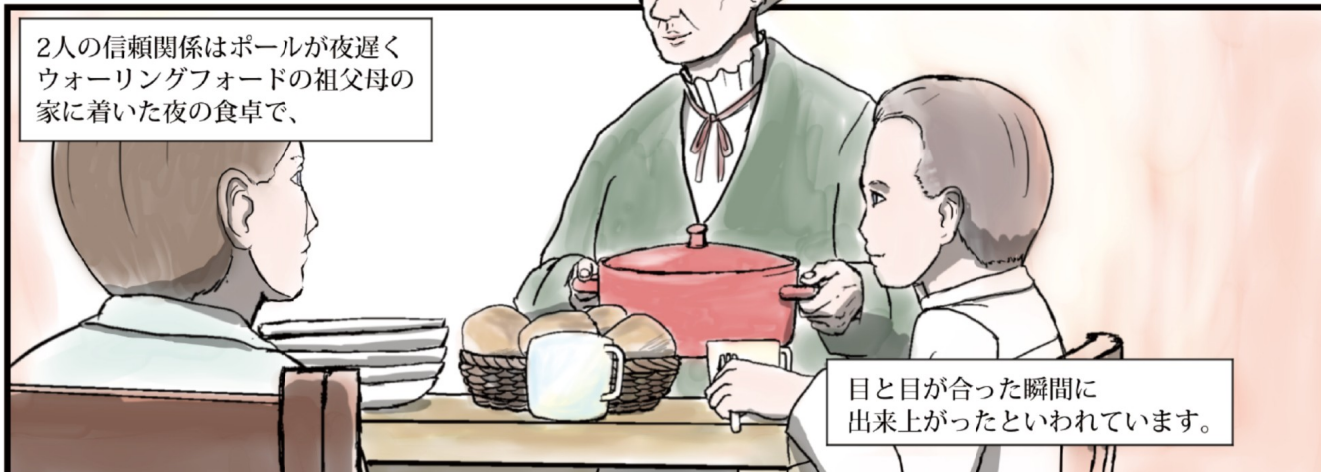
自身は学歴を持たないものの、教育を受けることの大切さははっきりと理解しており、そのことにポールは感服したそうです。



祖父の他に、ポールの少年期に大きな影響を与えた人が3人います。

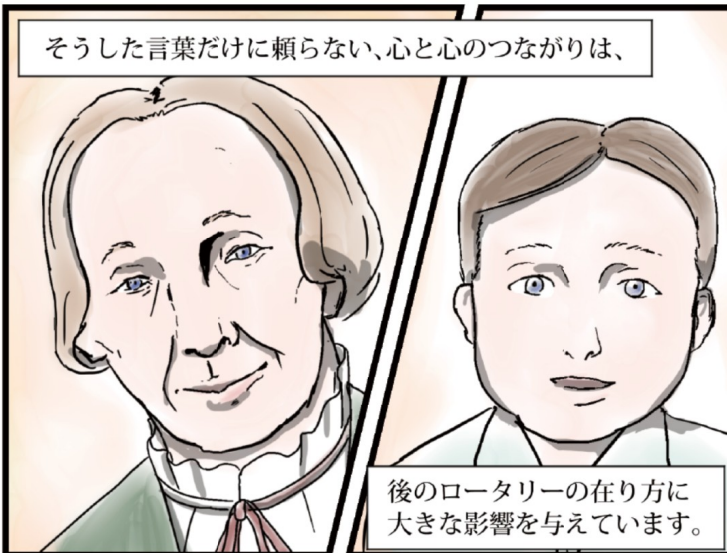


1人目は祖母のパメラでした。



2人の信頼関係はポールが夜遅くウォーリングフォードの祖父母の家に着いた夜の食卓で、

目と目が合った瞬間に出来上がったといわれています。



そうした言葉だけに頼らない、心と心のつながりは、

後のロータリーの在り方に大きな影響を与えています。



2人目は父方の叔母の夫、医師のジョージ・フォックスでした。

…あの、残りのお金はなんとか用意しますので、もう少し待ってもらえませんか？



いいえ、残りのお代は払わなくて良いですよ



困った人から治療費を請求するなど初めから念頭になかったといわれています。

それより、お体を大事にしてください

この、人のために奉仕しようとする叔父の姿勢が、多感で孤独な少年ポールに、他人に対する思いやりと献身が、人生をどれほど明るく美しくするかという感銘を植えつけたのでした。



3人目の人の名前は不明ですが、園芸家でした。



この人はユダヤ人だったと考えられています。



人生のこと、自然のことを夢のように語り伝えていたということで、

ポールが格調高い美文でロータリーの思想を世に広められたのは、この人の影響を受けたものと信じられています。

連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第1章

ポールの生い立ち（後半）



原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



作画 齋藤友紀

第1章 ポールの生い立ち(後半)

ポールは子どもの頃から聡明で感受性豊かであり、遊びの時にも不思議な統率力を発揮したといわれています。

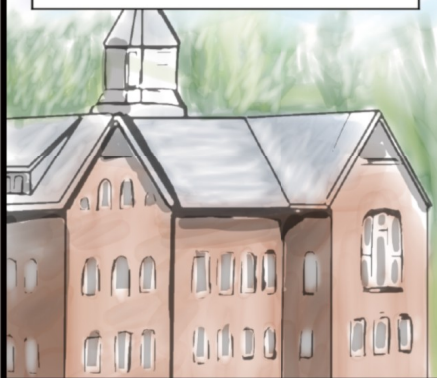


しかし、バーモント州ラードのブラック・リバーアカデミーに入学した時には…



気性が激しく団体訓練になじまず、教師を困らせたようです。

1年後にサクストン・リバーのバーモントアカデミーに転校し、そこを卒業。



1885年



その後、バーリントンのバーモント大学に入学しました。



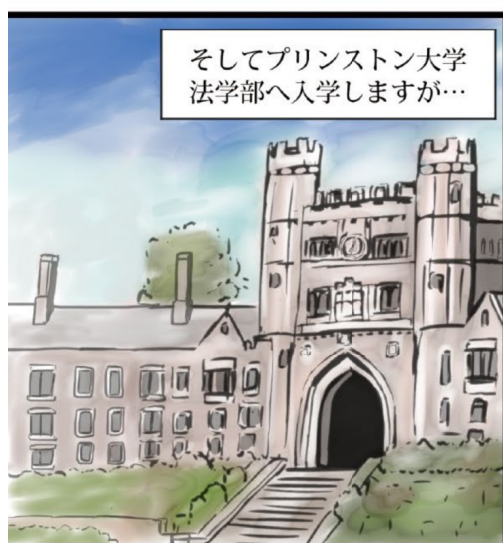
ところが2年生の時、学生不良グループのリーダー格と見なされ…



新入生をおどした仲間の責めを負って退学します。



この事件にポールは無関係だったのですが、ポールは一言も言い訳しませんでした。

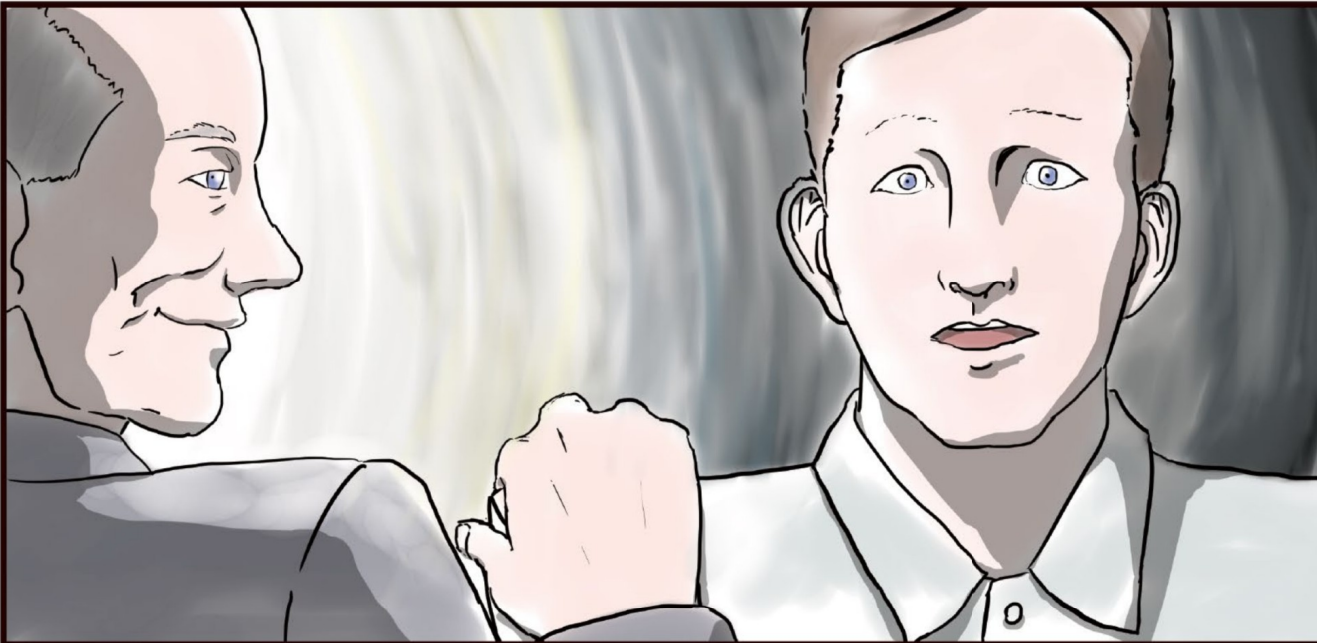


Come home at once if you
want to see grandpa alive.

祖父が生きているうちに
会いたければすぐに帰りなさい

その年の冬、祖父は他界
してしまいます。

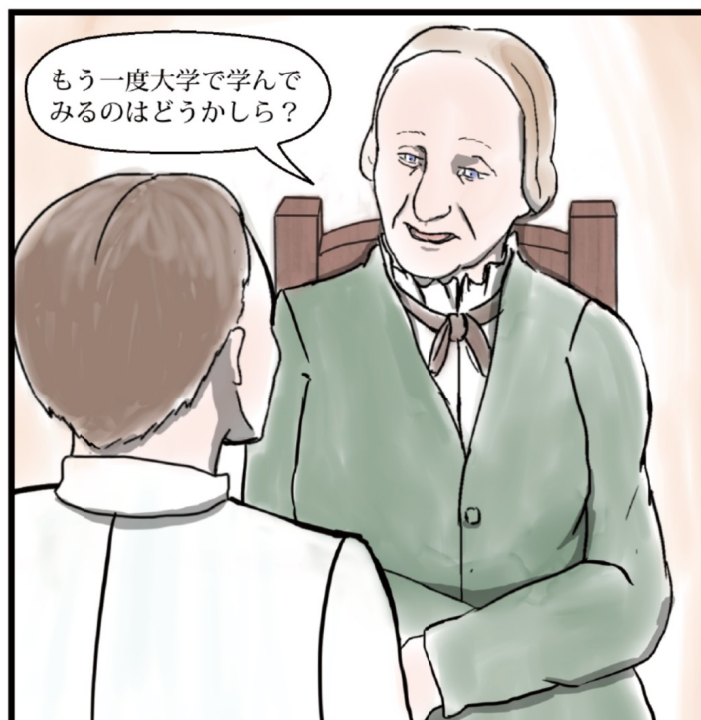
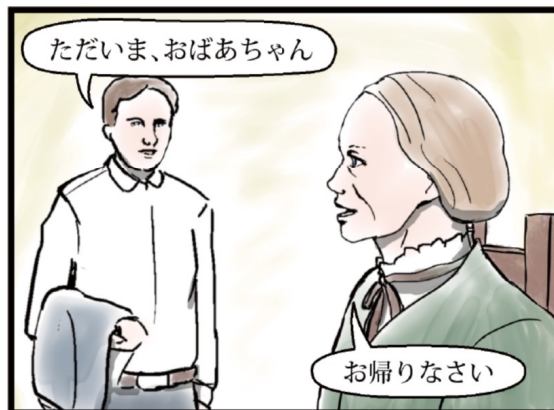
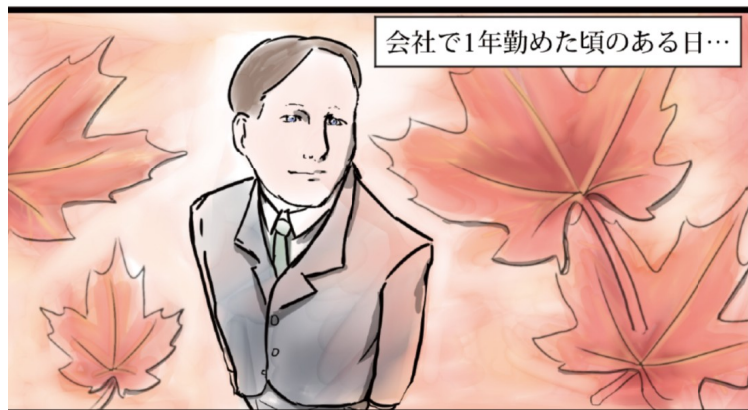
ポールは悲しみにくれました。
その後遺産相続の話になりましたが、
ふたを開けてみるとポールの取り分はゼロでした。



ポールはこれを
「ポールは一人前の男になったのだから、
あとは任せておけばよい、という温かい
心遣いだった」と考え、

「遺産がゼロであったことを
私は誇りに思ったことであつた」
と晩年に述懐しています。





ポールは祖母の提案で、アイオワ州立大学に法律を学ぶことにしました。



出発の日——…

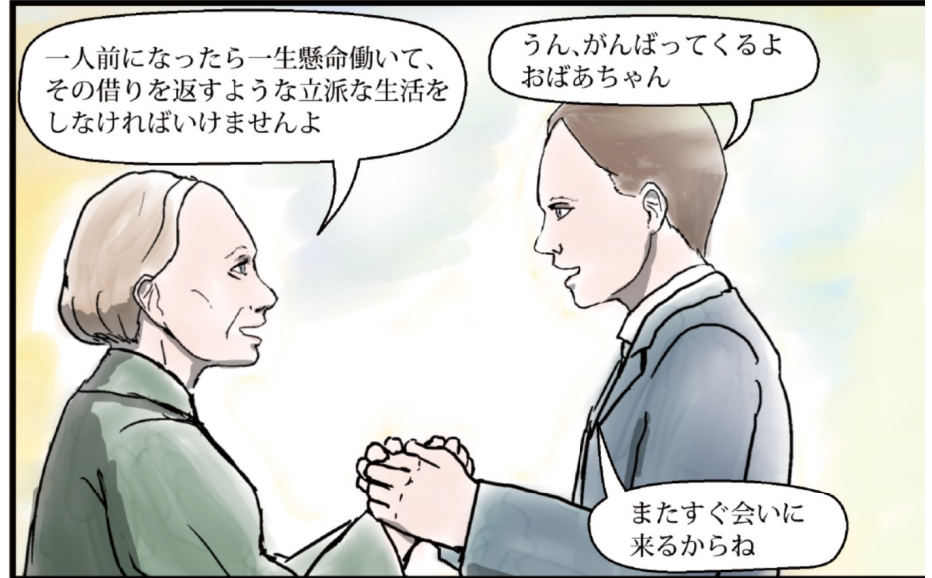


ポール、あなたは法律家になる適性があるようだから、そのつもりで法律の勉強に力を入れなさい

今までいろいろな人に迷惑を掛け、お世話になって、世の中の人々に大きな借りがあります



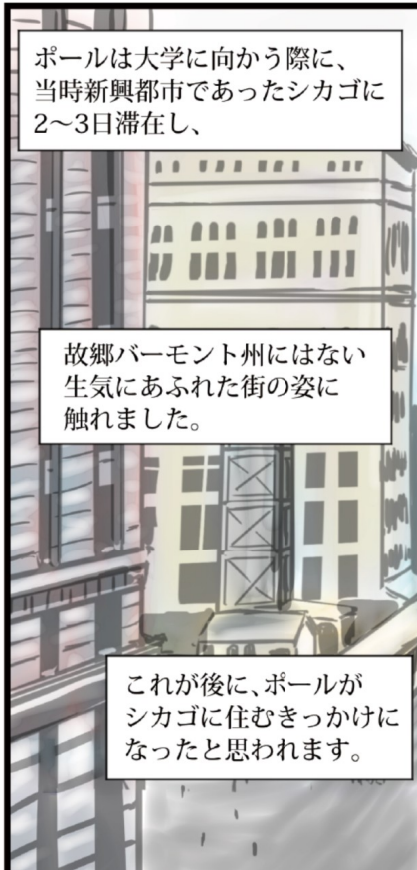
一人前になったら一生懸命働いて、その借りを返すような立派な生活をしなければいけませんよ



うん、がんばってくるよおばあちゃん

またすぐ会いに来るからね

ポールは大学に向かう際に、当時新興都市であったシカゴに2~3日滞在し、



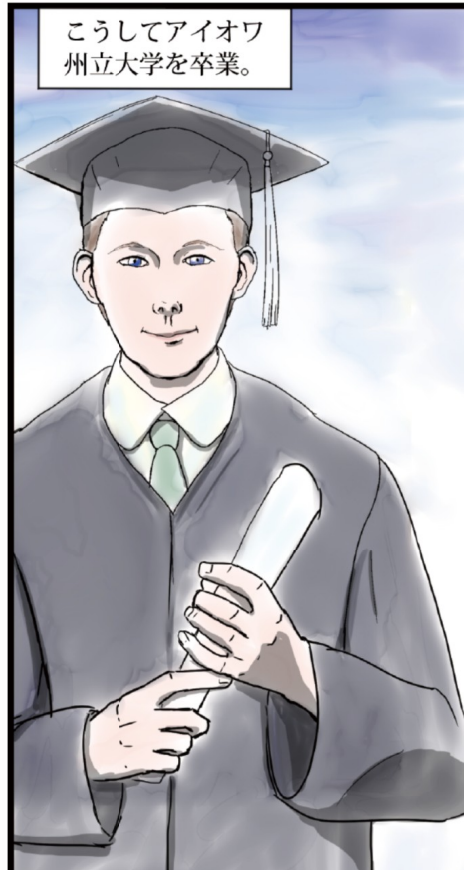
故郷バーモント州にはない生気にあふれた街の姿に触れました。

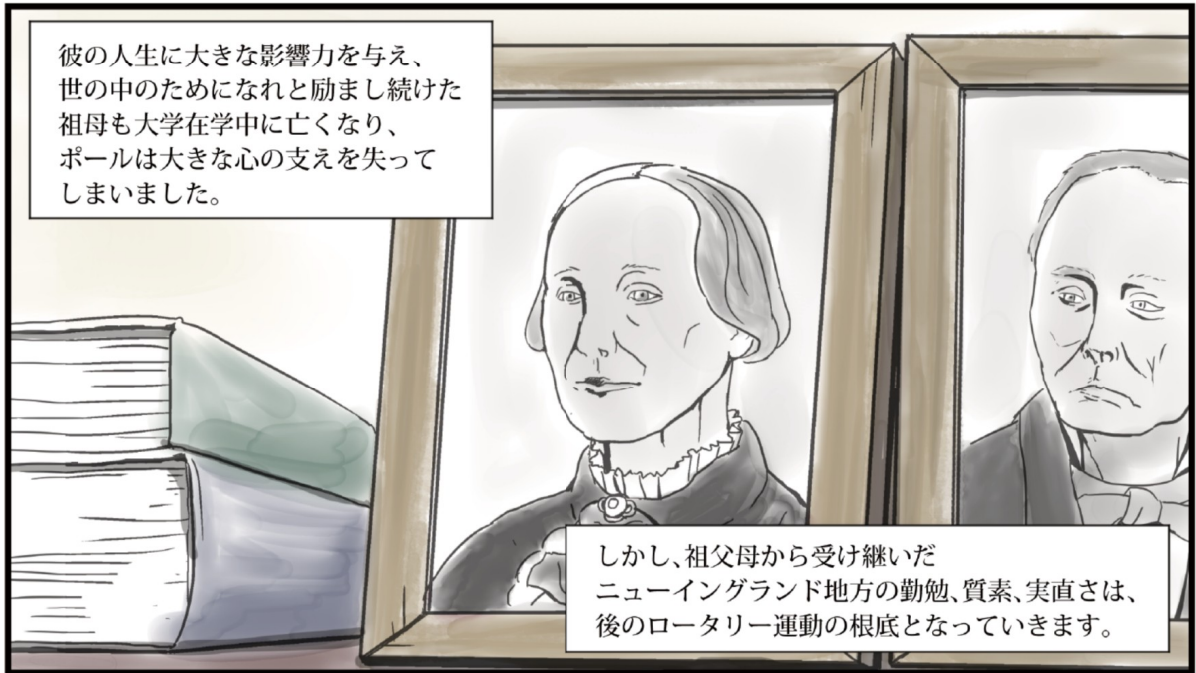
これが後に、ポールがシカゴに住むきっかけになったと思われます。

彼は大学に入ると、弁護士事務所で法律事務の仕事を手伝いながら大学の勉強を続けました。



こうしてアイオワ州立大学を卒業。



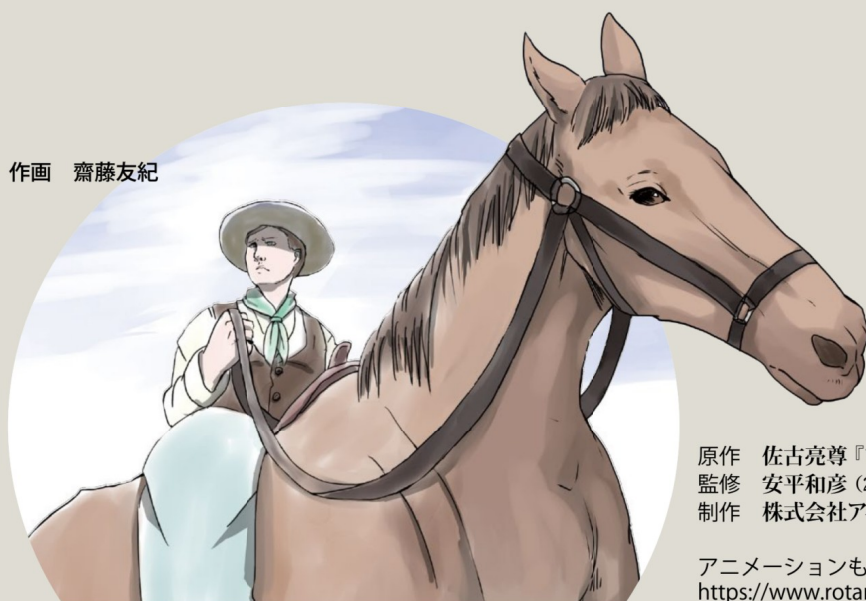


連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第2章
5カ年の「愚行」(前半)

作画 齋藤友紀



原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦(2002-03年度 第2680地区ガバナー)
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中!
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



第2章 5カ年の「愚行」(前半)

10年先輩の弁護士

卒業後、すぐに仕事に取り掛かるのではなく、5年くらいは田舎の小さな町で生活して、人の営みを観察することも大事だ

アイオワ州立大学の卒業式の祝辞

その後に大都会に出て、一生の仕事に入ることが望ましい

この話に思うところがあり、ポールは5年間の放浪の旅に出ます。

北部の大陸横断道路をたどり、

ロッキー山脈を越えて、

太平洋沿岸の北西部に出て南下し、

サンフランシスコに到着。

そこで、「サンフランシスコ・クロニカル新聞」の通信員として働きます。



南カリフォルニアのフレズノにあった
レーズン箱詰め工場で働き、



次にロサンゼルスに行き、



ロサンゼルス商科大学の講師
として9カ月間勤務します。



そこからコロラド州デンバーに
行き、俳優として多くのファンを
得ていた時期もありました。



その後、地方新聞
「ロッキー・マウンテン・
ニュース」の記者をしたり、

音楽活動について
インタビューさせて
いただきたいのですが…

ええ、喜んで



デンバー郊外のプラットビルの
農場でカウボーイ生活を送り、



頼むから出てきてくれ！

迷子の牛を何日も探し
回ったこともありました。



ここで「サンフランシスコ・クロニカル新聞」に勤めていた時に親友となったハリー C. プリアムと再会し、一緒に働きました。

さらに、デンバーの「ザ・リパブリカン新聞」の記者となり、

ハリー C. プリアム



ちなみに、プリアムはのちにメジャーリーグ野球のナショナルリーグ第6代会長を務めた人物でもあります。



その後、フロリダ州ジャクソンビルに移り、一流ホテルの「セント・ジェームス」の夜間事務員となりました。



この頃、後の親友となるジョージ・クラークと会い、彼の経営する大理石会社の営業部員になりました。



クラークとポール・ハリスとの心の付き合いはこの時に始まるのです。



クリーブランド大統領の就任式を見るためにワシントンに行き「ザ・ワシントン新聞」の記者として働いた後、

1893年



別の大理石会社の営業部員としてケンタッキー、テネシー、ジョージア、バージニアの各州を巡りました。

この頃、ポールはイギリスの
小説にのめり込み、



ついにイギリス・ロンドン
を訪問すべく営業部員
を辞職。



メリーランド州のボルティモアから出る
家畜運搬船の水夫として、大変な思いを
して大西洋を渡りましたが、



着いた先はリバプールで、しかも
積み荷を降ろすとすぐに帰国。



ポールは大変失望しましたが、
ロンドン行きを諦めたわけでは
ありません。

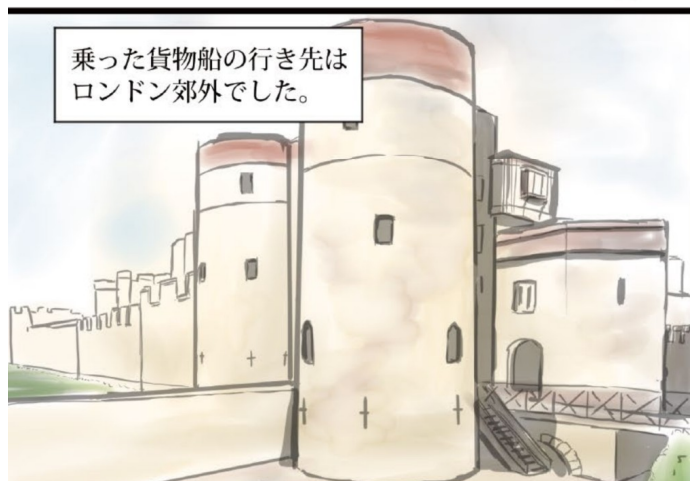


ボルティモア

缶詰め工場で働き、
再びイギリス行きの
船に――

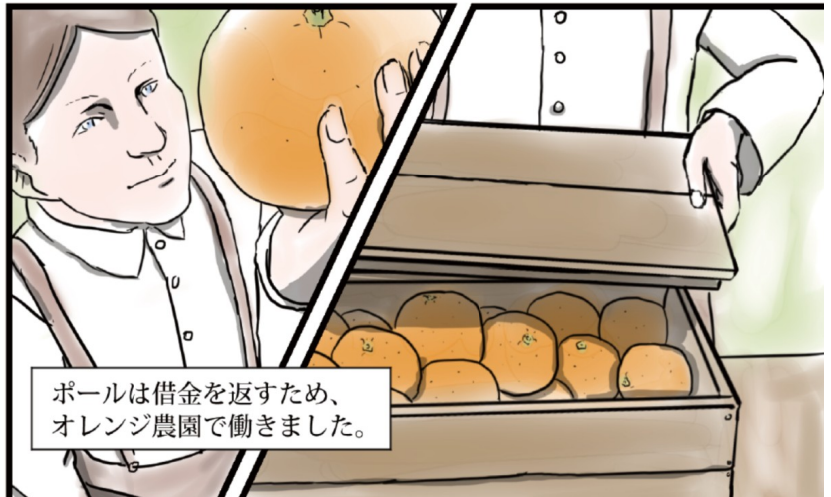
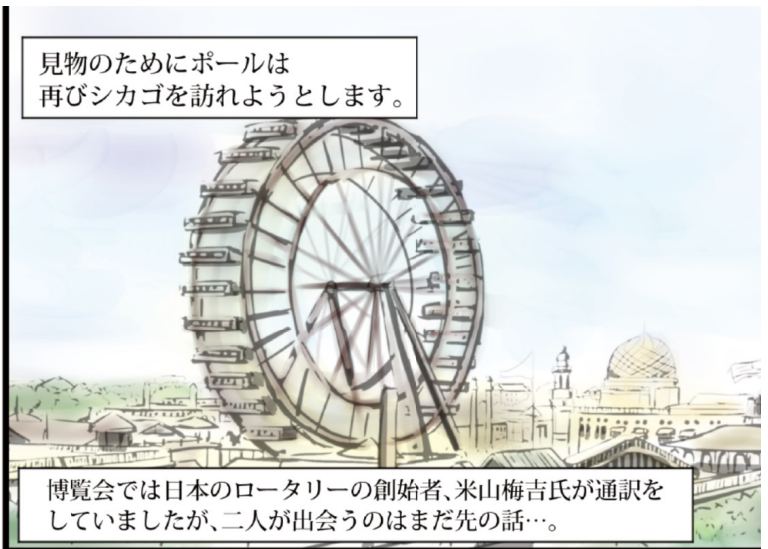


乗った貨物船の行き先は
ロンドン郊外でした。



船が寄港する
ウェールズも訪ね、
イギリス見物を
堪能しました。







この年のこと



大きなハリケーンがこの地域を襲い、大勢の人が命を失いました。



ポールは8歳の少女を肩に乗せて小高い丘の上の倉庫に逃れ、助かりました。

連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第2章
5カ年の「愚行」(後半)

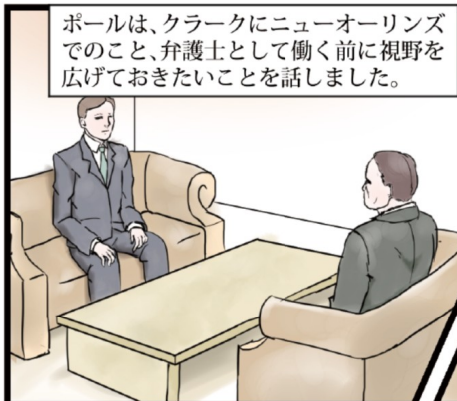
原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦(2002-03年度 第2680地区ガバナー)
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中!
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>

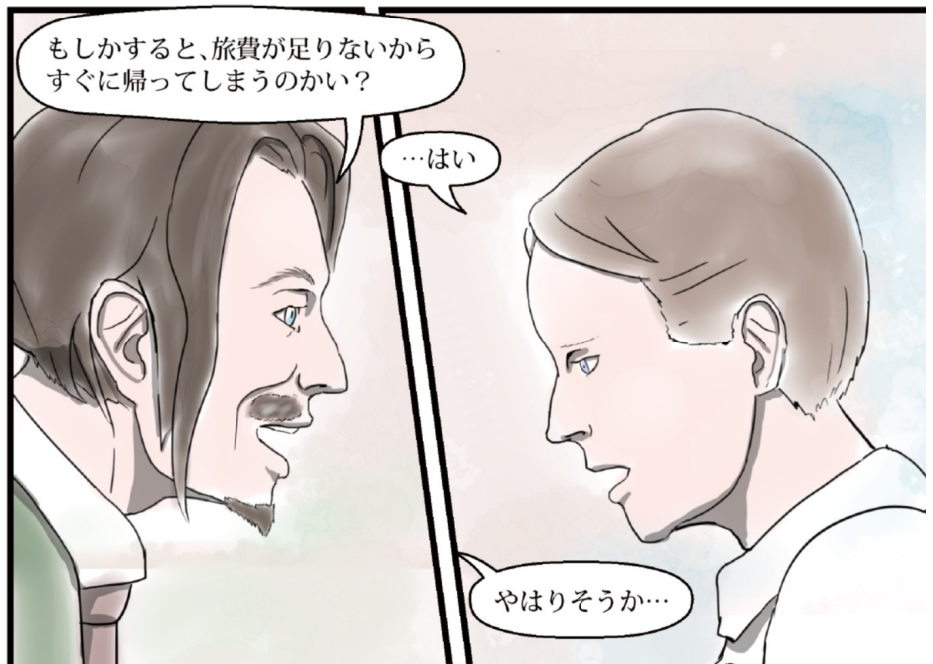


作画 齋藤友紀

第2章 5カ年の「愚行」(後半)









ヨーロッパ漫遊から
帰って数カ月後、

5年間の旅に終止符を打つと
決めたポールは、
シカゴで弁護士となるべく、
クラークに辞職を申し出ます。

シカゴか…

君の人柄と才能は
素晴らしいものだ

ここに居てくれば、
今以上に稼げると確信
しているのだがね

確かにそうかも
しれません

ですが、

私はお金儲けのために
行くわけではありません

シカゴで人生を生きて
みたいのです

…君の性格はよく
知っているつもりだ。
もう止めはしないよ

それじゃあポール、
残りの時間で行って
みたい所はないか？

では、ニューヨークへ
行きたいです

分かった、最後に
ニューヨーク出張を
命じる

こうしてクラークは最後まで
友情を示しました。

クラークはのちにポールの要請を受け、
ジャクソンビル・ロータリークラブを創立。
ポールとは生涯にわたり親交を
続けることになります。

こうした数々の経験からポールは、
伝統と習慣の違いがあったとしても、

人間の生活の根本は善意と友情に
支えられている、と考えるように
なりました。

この彼の思想こそが、ロータリー運動が
国境を超え全世界に受け入れられる
基盤をつくったのかもしれない。

連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第3章

ポール・ハリスの沈思黙考（前半）



原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



作画 齋藤友紀



第3章 ポール・ハリスの沈思黙考(前半)

1896年2月26日

ポールはシカゴに居を移します。

当時のシカゴは、ヨーロッパからやってきた移民の中継都市として発展し、アメリカを象徴する大都市となっていました。

この時、ポールは弁護士資格を取ってから5年間もたっていたわけですから、法律家としての論理の刃はかなり鈍っていたと思われます。

依頼人が来なかったのは不幸中の幸いだったのかもしれませんが。

そうした間、裁判所に通い、夜遅くまで訴訟記録や判例を読む日々が続きます。

開業から半年ほどたち、徐々に依頼が来るようになりました。

おそらくは同僚の弁護士が見かねてポールを紹介したのかもしれませんが、誠実に依頼人と向き合うことで、

その人がまた別の人を連れてくるという具合に、依頼人が増えていきました。

2年ほどたった頃には
ポールは安定した生活を
送れるようになりました。

一方で、そうしたゆとりはシカゴでの暮らしを
見つめ直すきっかけになっていきました。

コッ...

おっと!

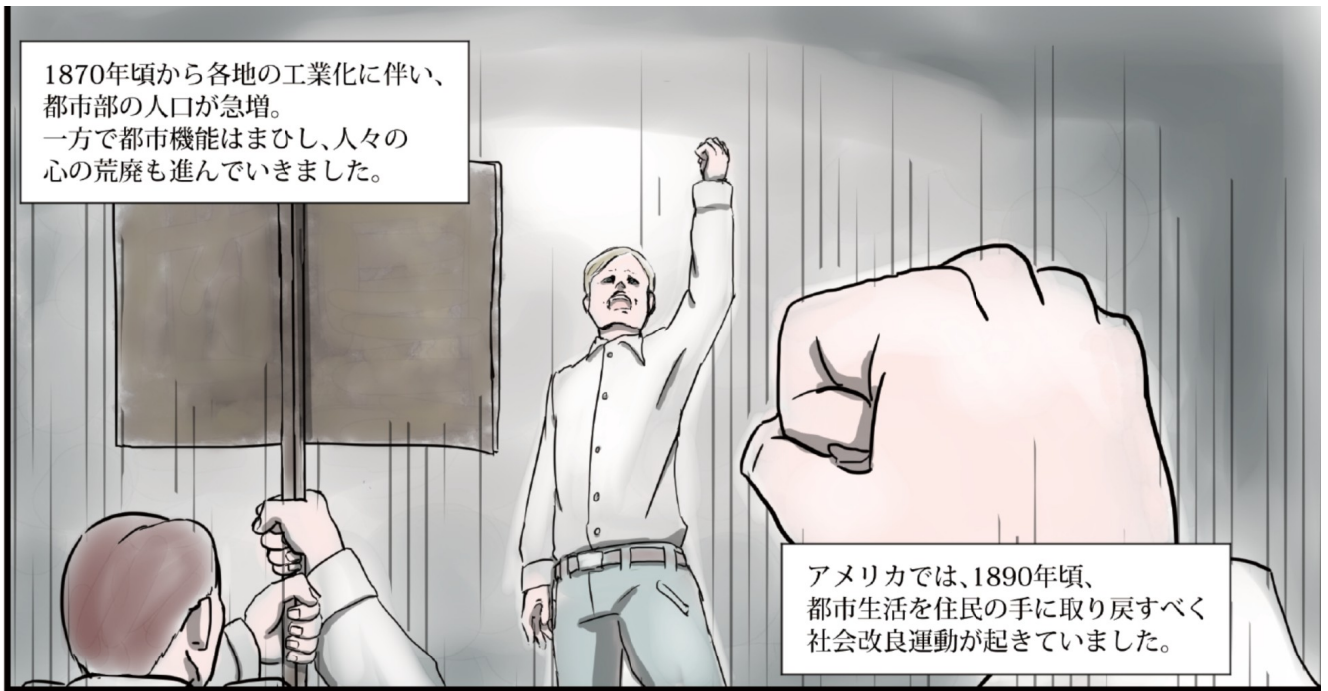
も、申し訳ない

数百人とすれ違おうとも、その中に
誰一人顔見知りはいない
この街の異様な
冷たさと寂しさ

こんな心の渇き、故郷には…
ウォーリングフォードには
なかった…

このままではだめだ!

1870年頃から各地の工業化に伴い、都市部の人口が急増。一方で都市機能はまひし、人々の心の荒廃も進んでいきました。



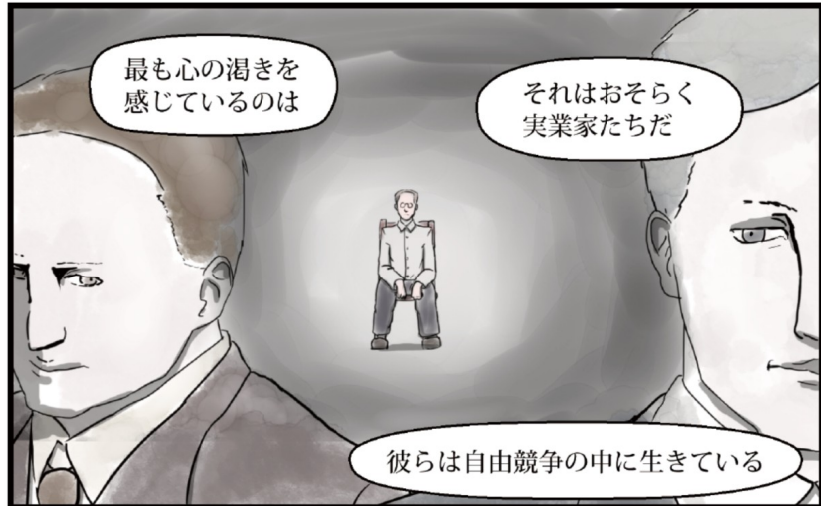
アメリカでは、1890年頃、都市生活を住民の手に取り戻すべく社会改良運動が起きていました。

ポールが都市生活に問題があると感じたのも、ごく当たり前のことでした。



最も心の渇きを感じているのは

それはおそらく実業家たちだ



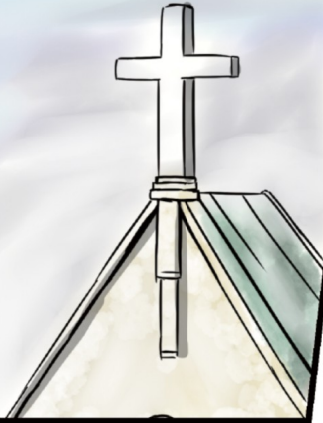
彼らは自由競争の中に生きている

いつ自分が破滅させられるか、互いに、警戒心に満ちている



この警戒心を解かないことには、問題は解決できない

ポールはまず最初に敬虔な^{けいけん}ピューリタンとして、教会を頼りました。ところが…



教会といえども職業人の悩みを救うことはできない



新しい仕組みをつくるほかない。しかし一体何をすればいいのか



シカゴの街に移り住んで生活こそ安定はしたが、

私はまだ一介の弁護士にすぎない



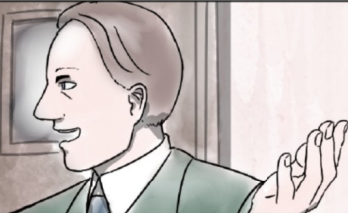
知り合いも少ない今の自分の力では何もできない…



こうして悩める2年間が過ぎました。

1900年の夏
シカゴ郊外

先輩弁護士からの招待を受け、ある会合に出席しました。



それはその弁護士と依頼人たちの会合でした。

弁護士と依頼人との間には強い信頼感がありました。



彼はその信頼関係を基に社交クラブをつくっていたのです。

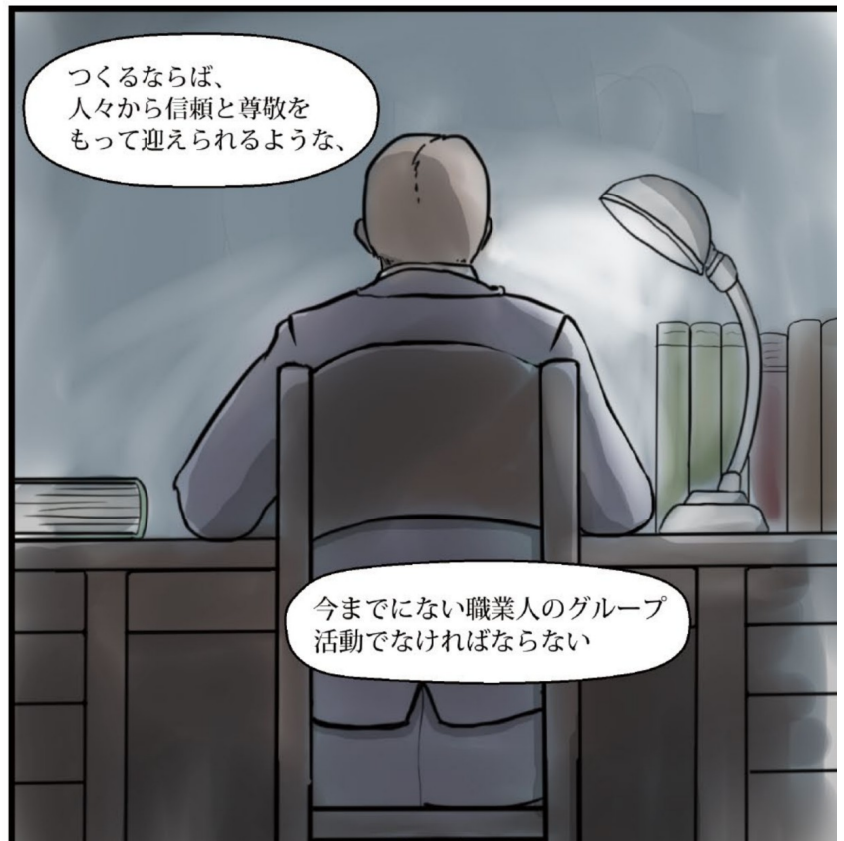
彼らは楽しげに会話し、心の渴きを癒やすのに十分な時間を共有していました。



これだ…



私が求めていたのは！



1900年の夏から、
ポールは悩み続けました。

今のままではよくないから
われわれ同業の仲間同士で
親睦団体をつくって、親類のような
付き合いをしよう…

などと言ってもうまくいく
はずはないだろう

なぜならもともと同業の
仲間であれば競争意識が
あるわけだから、

心を開こうといっても
無理な話だろうな

同業者間では、会った時は「やあ、やあ」
とあいさつしていますが、笑顔の裏では
何を思っているか分かりません。
「早く倒産してくれればいいのに」
などと考えていないとも限らないのです。

いや待て、
同業者…？

そもそも、職業が異なれば関係は
うまくいくのではないか！

ギソッ…

連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第3章

ポール・ハリスの沈思黙考（後半）



作画 齋藤友紀



原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



第3章 ポール・ハリスの沈黙考(後半)

1905年2月23日
ユニティ・ビル711号室

石炭商の
シルベスター・シールだ

洋服屋をやっている
ハイラム・ショーレーです

よろしく

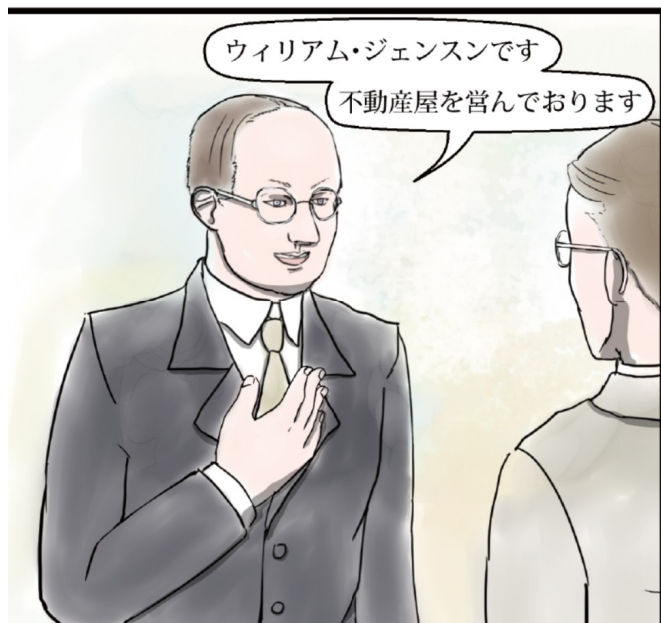
鉱山技師の
ガスターバス・ローアです
こちらこそ

まず、このクラブでは親睦を
目的とした一業種につき一会員を
原則にしたい

シカゴの街の雰囲気良くない原因の一つは
同業者による敵対関係にあると考えている

ならば、異業種の人同士の
気楽な社交の場があれば、
職業人同士が心を通わせ、
親睦を深め、

互いの職業を理解してこそ
助け合えるのだと私は思う





3回目の会合(1905年3月23日)
シールの職場(石炭置き場)

オルガン製造業
アルバート・ホワイト

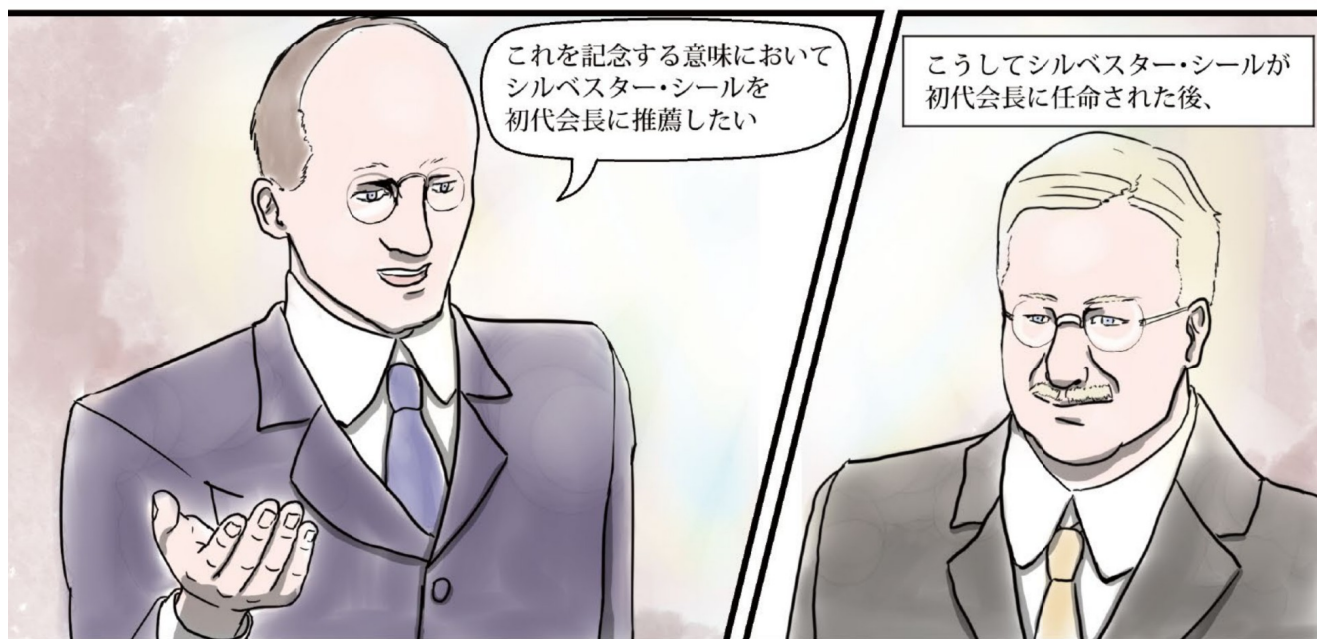
洗濯業
アーサー・アーウィン





機は熟した
役員の任命を
行うべきである

同業者なしに、一業種一会員制を
もって構成するわれら職業人の
社交団体は、
今日の良き日、良き場所において
創立されるに至った



これを記念する意味において
シルベスター・シールを
初代会長に推薦したい

こうしてシルベスター・シールが
初代会長に任命された後、



記録担当幹事に
ハイラム・ショーレー、



通信担当幹事に
ウィリアム・ジェンソン、

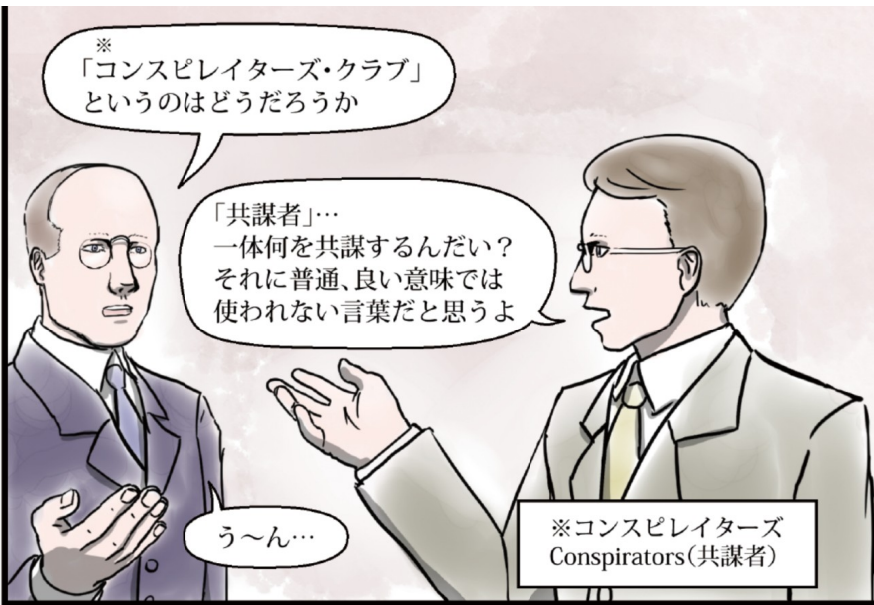


会計に
ハリー・ラグルスが
任命されました。



次に、クラブの名称を決めることになるのですが…。

……



※
「コンスピレイターズ・クラブ」
というのはどうだろうか

「共謀者」…
一体何を共謀するんだい？
それに普通、良い意味では
使われない言葉だと思うよ

う〜ん…

※コンスピレイターズ
Conspirators(共謀者)



これはどうだ？

趣旨がずれているな…

- Booster Club
- The Round Table Club
- Conspirators Club
- The Chicago Fellowship
- Blue Boys
- Chicago Circle
- The Lake Club
- The FFF Club (Food-Fun-Fellowship Club)
- Men With Friends
- Friends in Business
- Trade and Talk Club
- Windy City Roundup

こういう方向から考えて
みるのはどうだろうか？

いや、それよりも…

数多くの案が机を埋め尽くす頃、
誰ともなく声が上がりました…



なあ、われわれは互いの職場を
ローテーションしながら
会合を開いているのだから、

「ロータリークラブ」
と呼ぶのはどうだろうか？



それだ！

賛成するよ

私たちがいいな

ようやく決まったな

こうしてロータリークラブが誕生したのです。

そして徐々にメンバーも増えてきたある例会の日のことです。

チャールズ A. ニュートンが遅れて参加してきました。

ガチャッ

一体どうしたんだい？

忙しくて、朝から何も食べられなくてね。さすがにおなか为空いて昼食を取ってきたんだ…

確かに、ここにいるのは皆経営者だ。昼食を取る時間が必ずしもあるわけではない

その上、人数も増えてきて都合を合わせるのも難しくなっている

それならこれからの例会は食事を取れる場所で開くのはどうだろう

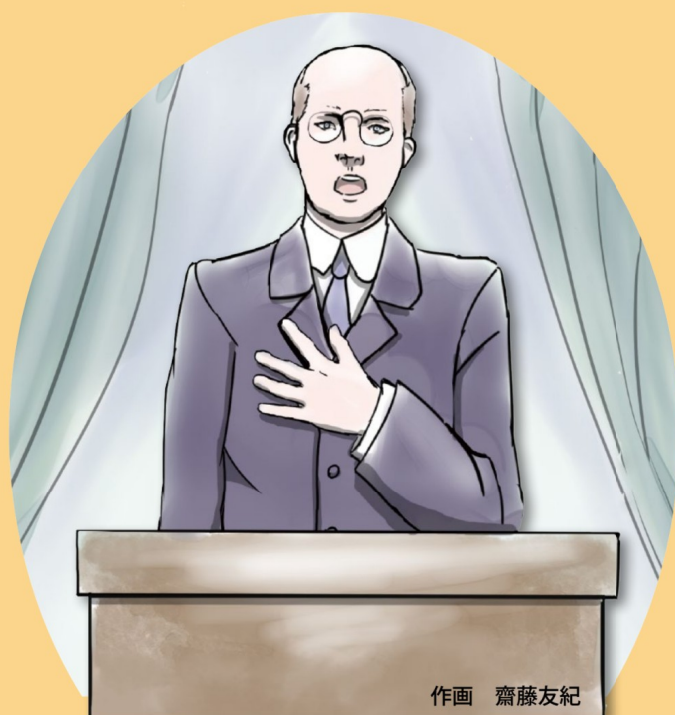
皆で昼食というのも、より親睦が深まるんじゃないかな

こうして各仕事場での会合に替わって、ホテルなどで例会が開かれるようになりました。

連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第4章
ロータリークラブの発足（前半）



作画 齋藤友紀

原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>



第4章 ロータリークラブの発足(前半)

3回の会合を経て発足したロータリークラブですが、初期のロータリーには世のため、人のためという考えはまだありませんでした。

われわれが肩を寄せ合っていく上では、親類付き合いをすることだ

われわれの中に敵対関係はない

だからこそ、物を調達したければ、ロータリアンはロータリアンに注文すること

注文を受けた者は、親類からの注文なのだからもうけてはならない

例会と例会の間にはどのロータリアンからどのロータリアンに何をいくつ注文したかをチェックし、

…と原価での取引を義務付けました。

例会中にこれらを発表しました。

そして、一業種一会員制を導入したことでお互いの警戒心がないため、困ったときには皆が知恵を出し合いました。

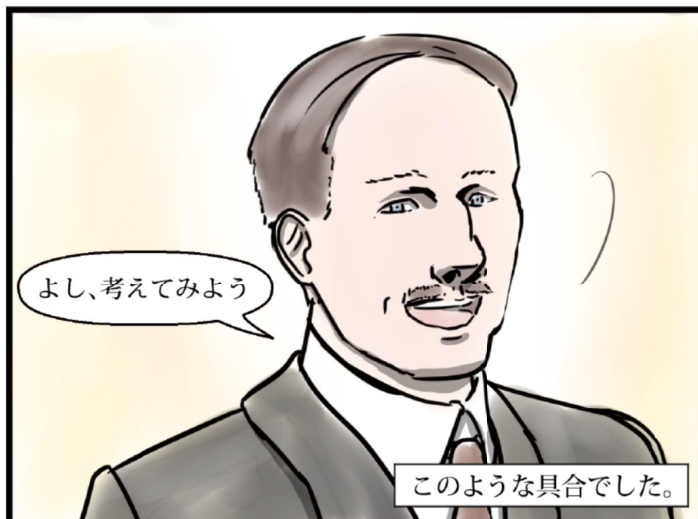
どうした？
浮かない顔をして

ああ…

商売がうまくいってなくてな

このままではロータリーに
いることも難しくなる…

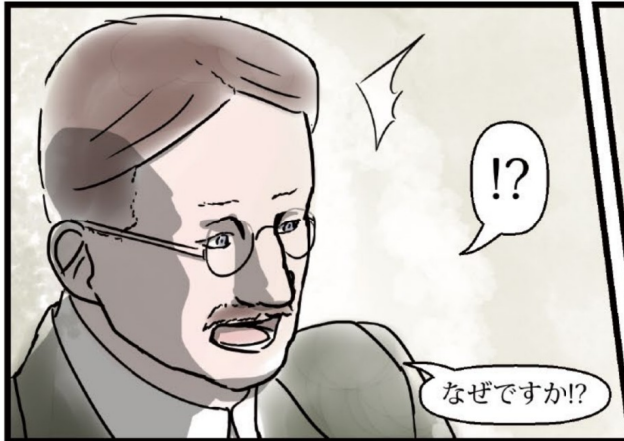




アルバート・ホワイトが弁護士ドナルド・カーターを
会員にするために勧誘に行く



断る







そして、ドナルド・カーターの言葉を受けたポールは…



連載コミック

ポール・ハリスと ロータリー

▶ 第4章

ロータリークラブの発足（後半）



作画 齋藤友紀

原作 佐古亮尊『ロータリーの森を歩く』
監修 安平和彦（2002-03年度 第2680地区ガバナー）
制作 株式会社アイディ

アニメーションも公開中！
<https://www.rotary-no-tomo.jp/manga/>

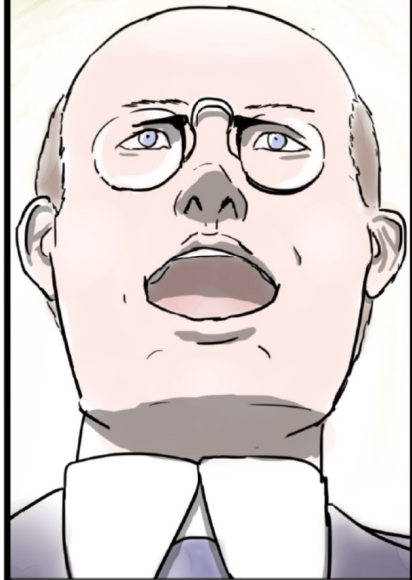


第4章 ロータリークラブの発足(後半)

1907年、
ポールは自薦でシカゴ・ロータリークラブの
会長に就任しました。

個人的利益のために
集まるのは
ロータリーにあらず

われら少数の職業人による親睦の力を、
世のため、人のために還元する行動に
出てこそ初めてロータリーは生きてくる



ポールは晩年の追憶の中で、
会長就任について三つの
理由を挙げています。

一つ目はロータリーに「世のため、人のため」
の考え方を導入すること。



二つ目は現状の「利己主義」からの脱却。

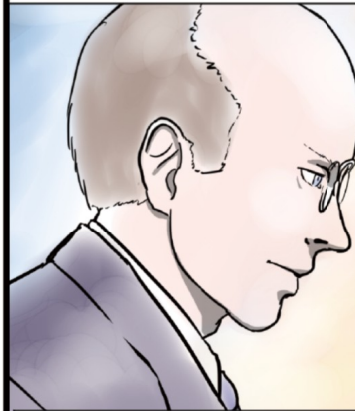


三つ目はロータリーの拡大でした。

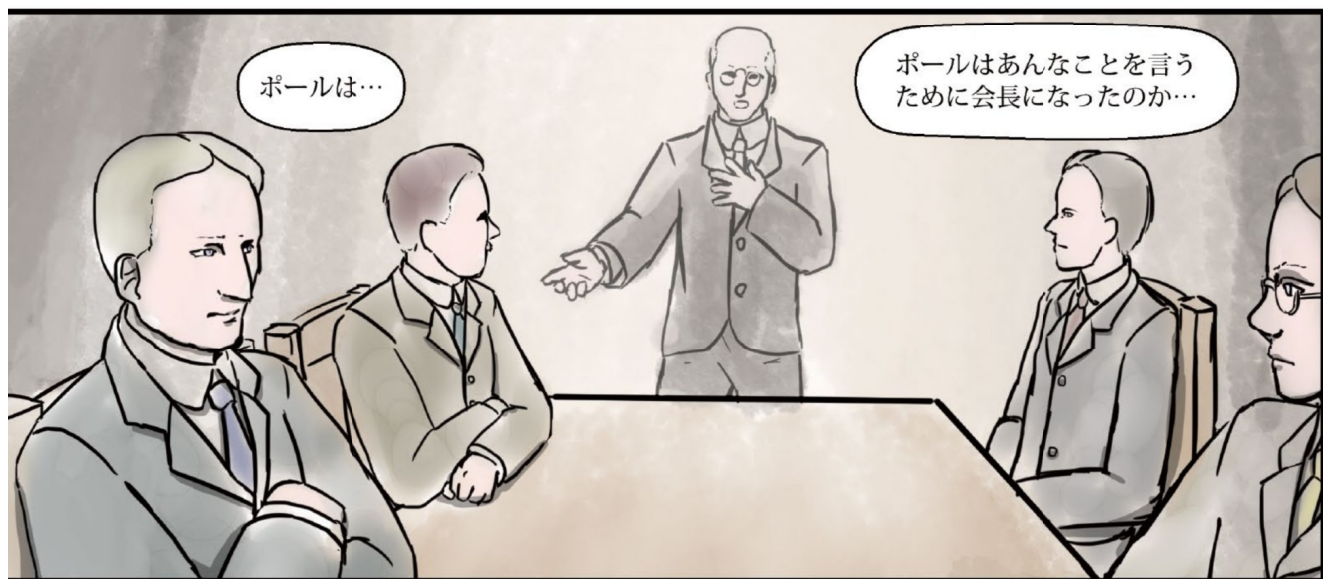


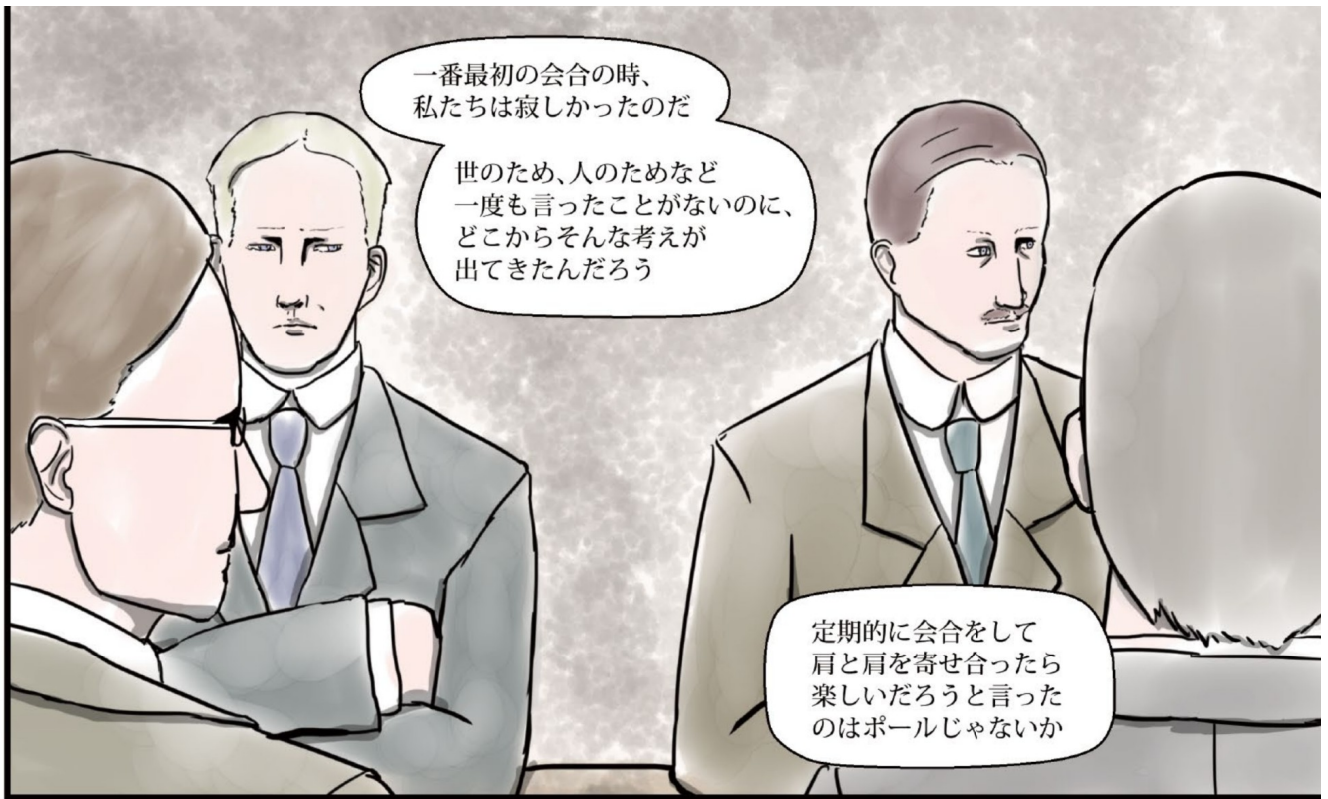
シカゴの街にはシカゴの街の職業人の理想が
あるように、ロサンゼルスやサンフランシスコにも、
ニューヨークやボストンにもそれぞれの理想があり、

ロータリーがシカゴに生まれたからと
いってそこだけにとどまることなく、



全ての都市の職業人の心の渇きを、
世のため、人のための実践を通して
癒やしていかなければならないと考えたのです。





一番最初の会合の時、
私たちは寂しかったのだ

世のため、人のためなど
一度も言ったことがないのに、
どこからそんな考えが
出てきたんだろう

定期的に会合をして
肩と肩を寄せ合ったら
楽しいだろうと言った
のはポールじゃないか



このように、周囲は
冷ややかな反応でした。



会員の中には例会を欠席する
人が現れ始めました。

創始者であるポールを相手に
表立って反対もできず、
これが精いっぱい行動だったのです。



面白くもないし…
休ませてもらうよ

ま、待ってくれ!

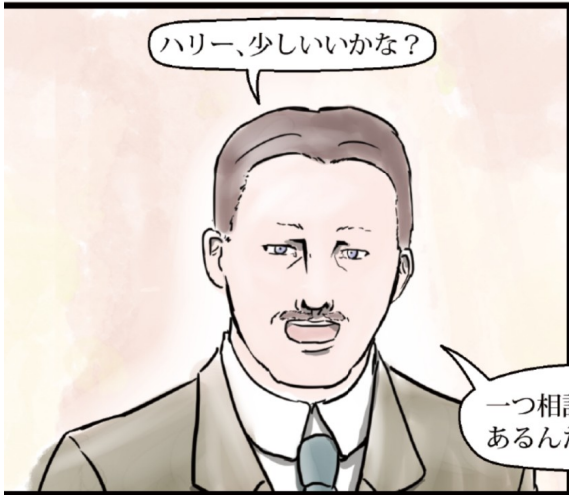
しかし、クラブの親睦を守るための基本原則として
「4回連続で欠席した者は自動的に会員資格を
喪失するべきものと定む」という規定がありました。

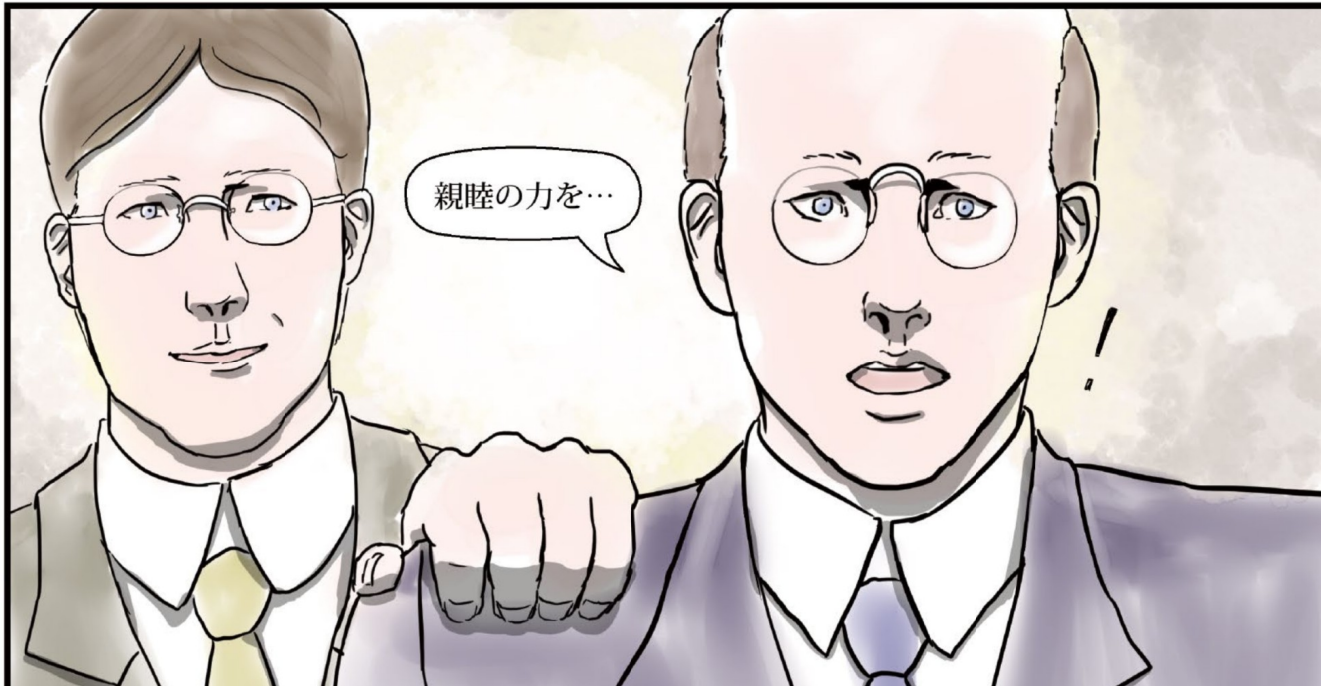


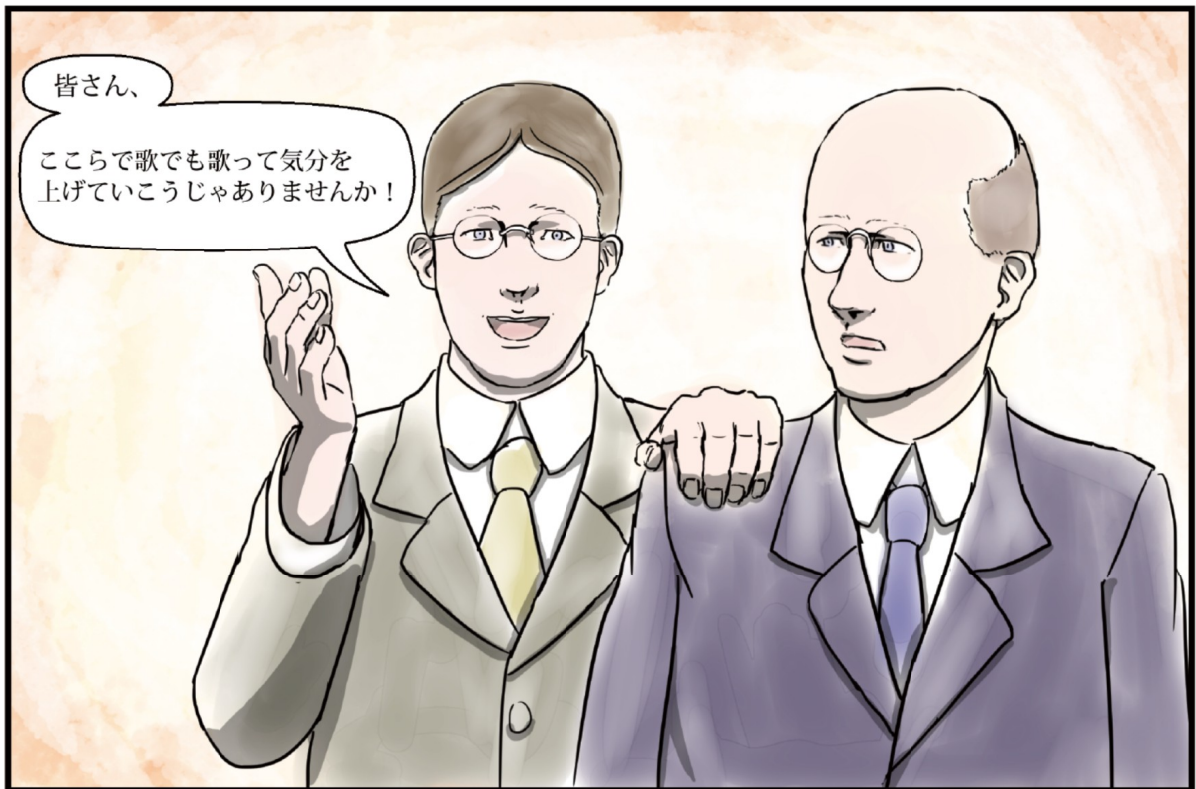
この状態がもうひと月続けば、

初代親睦活動委員長
ドクター・ネフ

このクラブは立ち行かなくなってしまう…







その後1910年、
各クラブの親睦を保ちつつ奉仕活動を行うため、奉仕の在り方を深く考えながらロータリーを
拡大していくために、そして、情報の媒介を行使する独立した専門事業団体として、
全米ロータリークラブ連合会が発足されました。これが後に国際ロータリーとなります。